

平成22年度 決算書

# 町の家計簿

ダイジェスト版

## 「北緯45度 癒しの里」

ロマン息づく大自然の町-中頓別



### 目次

平成22年度決算状況	2
監査委員の決算審査意見	15
財務書類4表（貸借対照表、行政コスト計算書、 純資産変動計算書、資金収支計）	21

平成23年10月  
中頓別町

平成22年度各会計の決算額は、下記のとおりです。

一般会計では、財政の早期健全化を確実に推進していくため、「財政健全化計画」を基本として勤勉手当の一部削減などによる人件費の削減や地方債を必要とする普通建設事業の抑制による公債費（借金の返済）の縮減を行った結果、経常経費は減少したものの繰越事業として国の財源による地域活性化事業などを実施したことにより総額では前年度比4.0%の増加になりました。

収入では、人口減などにより町税が年々減少していますが、財政力の弱い地方自治体を支えている地方交付税が前年度比6.8%増（1億5,177万円増）と昨年に引き続き大幅な増加となりました。

一方、支出では、人件費が職員数の減による影響で給与費は減少しているものの、退職手当負担金の精算に伴う追加負担金が増えたことにより前年度比1.8%増（856万円増）や繰越事業による地域活性化事業が前年度比43.4%増（4,678万円増）となりました。

国の経済対策による事業を実施したことにより、決算が前年度と比較して増加していますが、地方交付税の増加や公債費が減少したことにより積立金（貯金）が前年度比115.3%増（1億9,614万円）となっています。

財政健全化法による健全化判断比率の指標の一つである実質公債費比率が21.7%と国が定めた早期健全化基準の25.0%を下回りましたが、まだまだ支出に占める公債費の割合が高い状況にあります。今後においても、町民の皆様にならぬ新たな負担増などの迷惑をかけないように着実に、健全化に向けて取り組んでまいります。



## 各会計ごとの決算状況

会計の名称	会計の内容	収入	支出	
一般会計	町の一般的な仕事をする会計で下記の会計を除いたものです。	38億0296万円	36億8856万円	
自動車学校	教習生の授業料などを収入に普通自動車免許、大型特殊免許の教習を行っています。	3133万円	2709万円	
国民健康保険	国民健康保険税などを収入に加入者の医療費の給付などを行っています。	3億0765万円	3億0321万円	
老人保健	支払基金からの医療費交付金などを収入に老人医療費などの給付を行っています。	62万円	62万円	
国保病院	医療収益を基に町民への医療サービスを行っています。	収益的収支	4億8063万円	4億7033万円
		資本的収支	3080万円	5482万円
水道	水道使用料を収入に浄水場などの維持管理と町民への給水サービスを行っています。	1億3649万円	1億3542万円	
下水道	下水道使用料を収入に終末処理場の維持管理と下水道サービスを行っています。	1億0091万円	1億0064万円	
介護保険	介護保険料などを収入に要介護認定を受けた方に介護・支援サービスを行っています。	1億8890万円	1億8158万円	
後期高齢者医療	老人保健制度に替わる制度で、保険料などを収入に広域連合などの負担金の支払いを行っています。なお、医療費などの給付は全道すべての市町村で構成する後期高齢者医療制度広域連合が行っています。	2673万円	2642万円	
合 計		51億0702万円	49億8869万円	

# 財政健全化法による健全化判断比率及び資金不足比率

## ◆財政指標（1）

区分	健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%	40.0%
実質公債費比率	21.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	23.0%	350.0%	

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は赤字がないため、比率は発生しません。

### 実質赤字比率

福祉や教育、観光や道路建設など行政運営の基本的な経費をまとめた一般会計における赤字の程度を指標化したもの

### 実質公債費比率

一般会計の借入金返済額のほか、特別会計の借入金に対する負担額や借入金に準じた経費の負担額を合算して指標化したもの

### 連結実質赤字比率

全ての会計の赤字や黒字を合算したうえで、町全体の赤字の程度を指標化したもの

### 将来負担比率

実質公債費比率の算定に基づく経費のほか、職員の退職手当、一部事務組合などの負債のうち、一般会計が将来負担する可能性のある額の大きさを指標化したもの

## ◆財政指標（2）

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
国民健康保険病院事業	—	20.0%
水道事業	—	
下水道事業	—	

※いずれの会計も赤字がないため、比率は発生しません。

### 資金不足比率

それぞれの公営企業会計の赤字額を、料金収入などの事業規模と比較して指標化したもの

# 実質公債費比率

平成20年度～平成22年度の3カ年平均

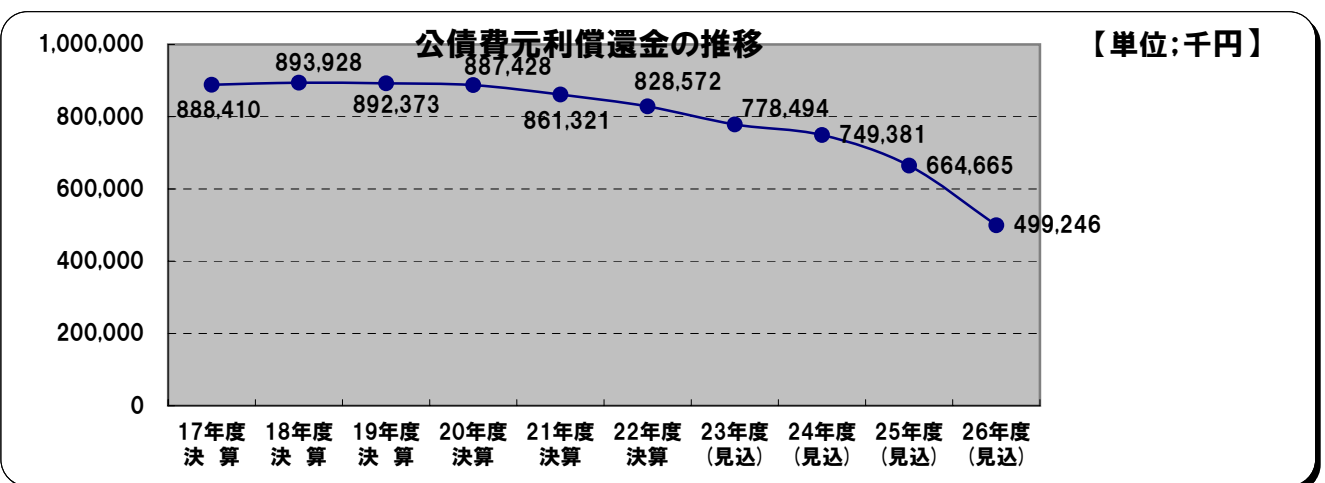
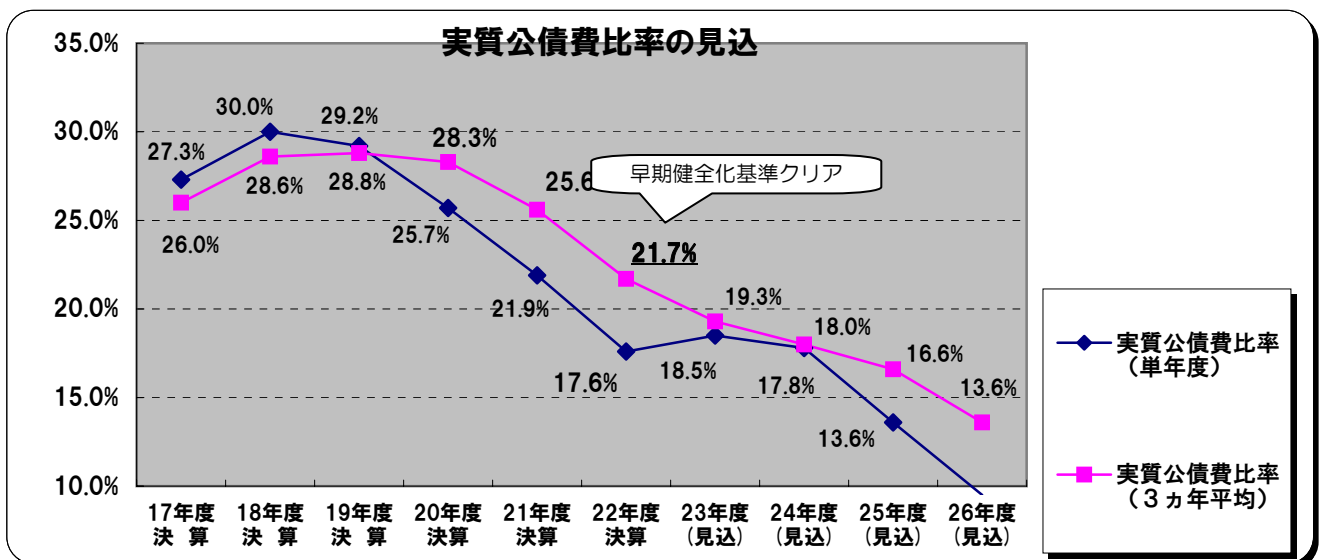
# 21.7%

実質公債費比率とは、町の収入に対する町全体の借金返済額の比率を示す財政指標です。

今年度については、昨年度の実質公債費比率25.6%より3.9ポイント減少しました。財政健全化法による健全化判断比率の実質公債費比率は3カ年平均で公表されます。

早期健全化基準である25.0%をクリアしたことにより、財政健全化団体（早期健全化団体）から脱却しました。

今後も引き続き地方債借入額を最低限に抑え、公債費負担の軽減を図っていきながら、国の制約を受けない協議団体に移行できる18.0%を1年でも早くクリア出来るように、財政運営の健全化に努めていきます。



※ 公債費元利償還金は、決算統計のルールに従って算出した推移ですので、決算の数値とは異なります。

# なかとん 中屯真

# さんちの

## 収入

1ヵ月の収入合計 38万1千円 (36万3千円) の内訳

一般会計を  
1世帯あたりに例えた場合

### 給料 (84.2%)

32万1千円 (30万3千円)



基本給 1万6千円
町税
1億6千万円

能力(歩合)給 25万円
地方交付税 地方譲与税などの国 からの交付金 24億9千万円

手当 5万5千円
国庫支出金 道支出金
5億5千万円

### 預金引き出し (0.8%)

3千円 (8千円)

繰入金 3千万円
-------------

### パート収入 (4.5%)

1万7千円 (1万8千円)

使用料・手数料など 1億7千万円
---------------------

### ローン借入れ (8.1%)

3万1千円 (2万8千円)

町債 3億1千万円
--------------

### 前月からの繰越金 (2.4%)

9千円 (6千円)

繰越金 9千万円
-------------



今年は、昨年に引き続き給料が増えたことや昨年残しておいたお金があったので、収入が増えている。これからも、給料が安定していないから、できるだけ借金をしないで、今後のために貯金もおろさないようにがんばろう。

※ ( ) 内は平成21年度の金額

# 家計簿

【1ヵ月の計算方法】(例)  
平成22年度収入→38億円×1/830(世帯数)÷12ヵ月=38万1千円

## 支出

1ヵ月の支出合計 37万円(35万4千円)の使い途



家賃・光熱水費(19.5%)

7万2千円(8万2千円)

総務費  
7億2千万円



医療・衛生費(8.9%)

3万3千円(3万円)

衛生費  
3億3千万円

衣料・食料費(14.9%)

5万5千円(4万9千円)

民生費・農林水産業費・商工費  
5億5千万円

子供の学費(4.0%)

1万5千円(1万6千円)

教育費  
1億5千万円

家や道路の整備代など(5.1%)

1万9千円(1万9千円)

土木費  
1億9千万円



その他(20.3%)

7万5千円(5万5千円)

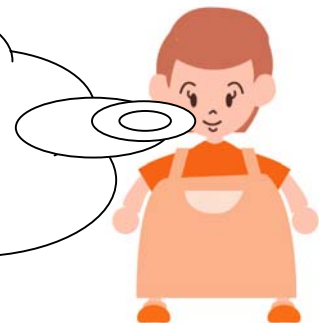
議会費・労働費・消防費など  
7億5千万円

ローン返済(27.3%)

10万1千円(10万3千円)

公債費  
10億1千万円

今年は、家賃や光熱水費が下がったけど、衣料や食料費が上がってしまったわ。夫の給料が増えたおかげで貯金を崩さなくて済んでよかったけど、まだまだローンの返済が重くのしかかっているし、夫の給料も不安定なので、これからも節約してがんばらなきゃね。



# 特別会計への繰出金



総額 4億4,164万円

(対前年比 8,278万円増えました)

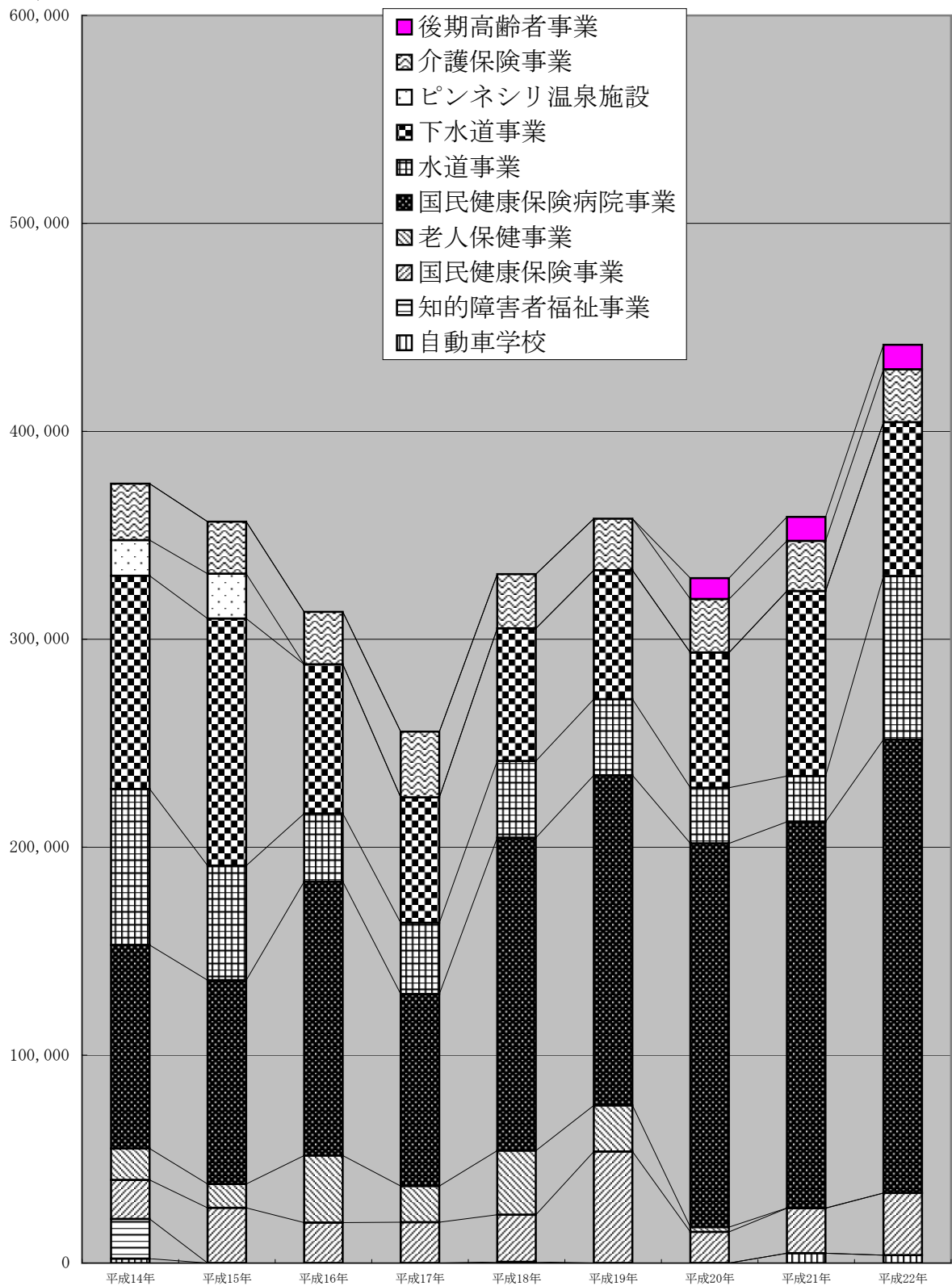
特別会計は独立採算性が基本です。お金が足りない場合は、一般会計の仕事を我慢してもらって繰り出すことになります。つまり、市民の皆様へのサービスを一部我慢してもらうことになります。この繰り出しが多いことは健全な財政とはいえません。ただし、特別会計繰出金の中には国の制度により繰り出すもの（ルール分）があります。このルール分は削減できませんが、それ以外の不採算運営費（赤字）に伴う繰出金の削減が、財政の早期健全化のための重要な課題といえます。

	平成22年度	平成21年度	増減
☆ルール分のみ繰り出しの会計			
●老人保健へ		14万円	皆減
●水道へ	7863万円	2194万円	5669万円
●介護保険へ	2543万円	2415万円	128万円
●後期高齢者医療へ	1181万円	1154万円	27万円
☆不採算運営費補てんのある会計			
●自動車学校へ	376万円	470万円	▲94万円
うち不採算分		470万円	皆減
●国民健康保険へ	2990万円	2164万円	826万円
うち不採算分	1700万円	700万円	1000万円
●国保病院へ	2億1811万円	1億8575万円	3236万円
うち不採算分	1億4043万円	1億62万円	3981万円
●下水道へ	7400万円	8900万円	▲1500万円
うち不採算分	4933万円	4834万円	99万円

(単位：千円)

事業名	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
自動車学校	2,100	—	—	—	—	—	—	4,700	3,760
知的障害者福祉	19,100	—	—	—	574	—	—	—	—
国民健康保険	18,743	26,538	19,438	19,648	22,679	53,607	14,970	21,641	29,904
老人保健	15,100	11,500	32,262	17,400	30,808	22,230	2,323	140	—
国保病院	97,895	97,978	131,712	92,316	150,516	158,714	184,511	185,749	218,106
水道	75,052	55,149	32,763	34,268	36,861	36,600	26,814	21,936	78,628
下水道	102,500	118,800	71,800	60,300	63,800	62,050	65,000	89,000	74,000
ピソネリ温泉	17,200	21,551	—	—	—	—	—	—	—
介護保険	27,119	25,059	25,200	31,617	26,099	24,763	25,732	24,147	25,433
後期高齢者医療							10,072	11,543	11,811
合計	374,809	356,575	313,175	255,549	331,337	357,964	329,422	358,856	441,642

[単位：千円]





# 平成27年度に行った主な事業

## ■道路

- 中頓別弥生線道路改良整備事業 **7,218万円**  
改良 167m  
舗装 275m  
(新熊の沢橋から小金橋までの区間)
- 1条通り線道路整備事業 **2,353万円**  
改良・歩道 144.5m  
(西団地老人専用横から除雪センターまでの区間)
- 6丁目線道路整備事業 **3,312万円**  
改良・歩道 110m  
(2条通り線から峰友さんまでの区間)

## ■農業

- 中山間地域等直接支払交付金交付事業 **3,255万円**  
農地面積に応じて交付金を交付し、農地の保全等を図るための取り組みを行いました。

## ■林業

- 森林管理道弥生線開設事業 **3,145万円**  
今年度は、弥生の町営牧場の終点付近から一己内川手前まで開設を行いました。

## ■観光

- 鍾乳洞ジオツーリズム地域力再生事業 **702万円**  
北海道指定天然記念物である鍾乳洞と、その周辺の豊かな自然環境を活かし、人間と自然とのジオツーリズム活動の推進を図りました。

## ■その他

- ※松音知水道布設替事業 **5,669万円**  
老朽化した松音知地区の水道管を新しく入れ替えしました。

※は国庫支出金による地域活性化事業

紙面等の都合により、臨時的かつ金額の大きい事業のみ掲載しました。なお、詳細の資料を希望する方は中頓別町役場総務課総務グループ財政担当までご連絡ください。また、中頓別町ホームページでの詳細資料を掲載しておりますので御利用ください。

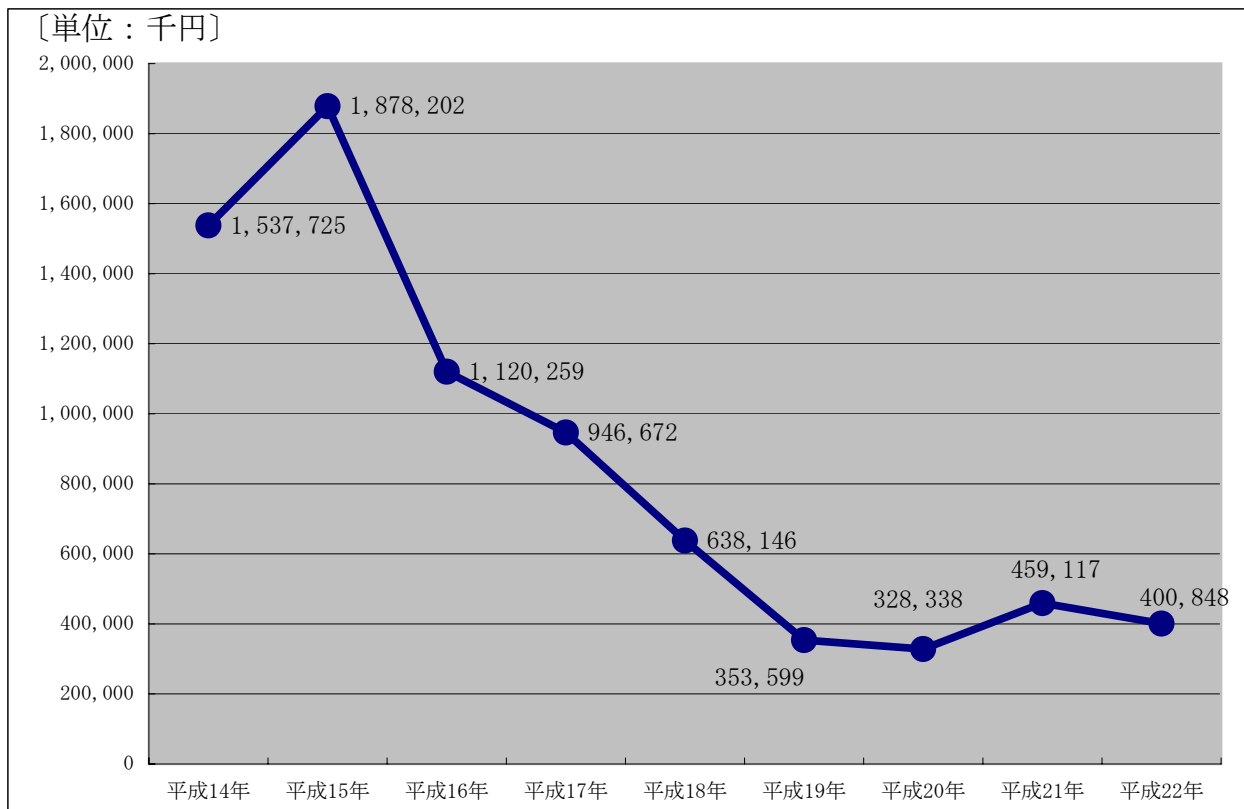
中頓別町HPアドレス

<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp/>

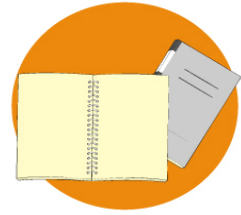


# 一般会計

## 公共事業費の推移



# 借金（一般会計）

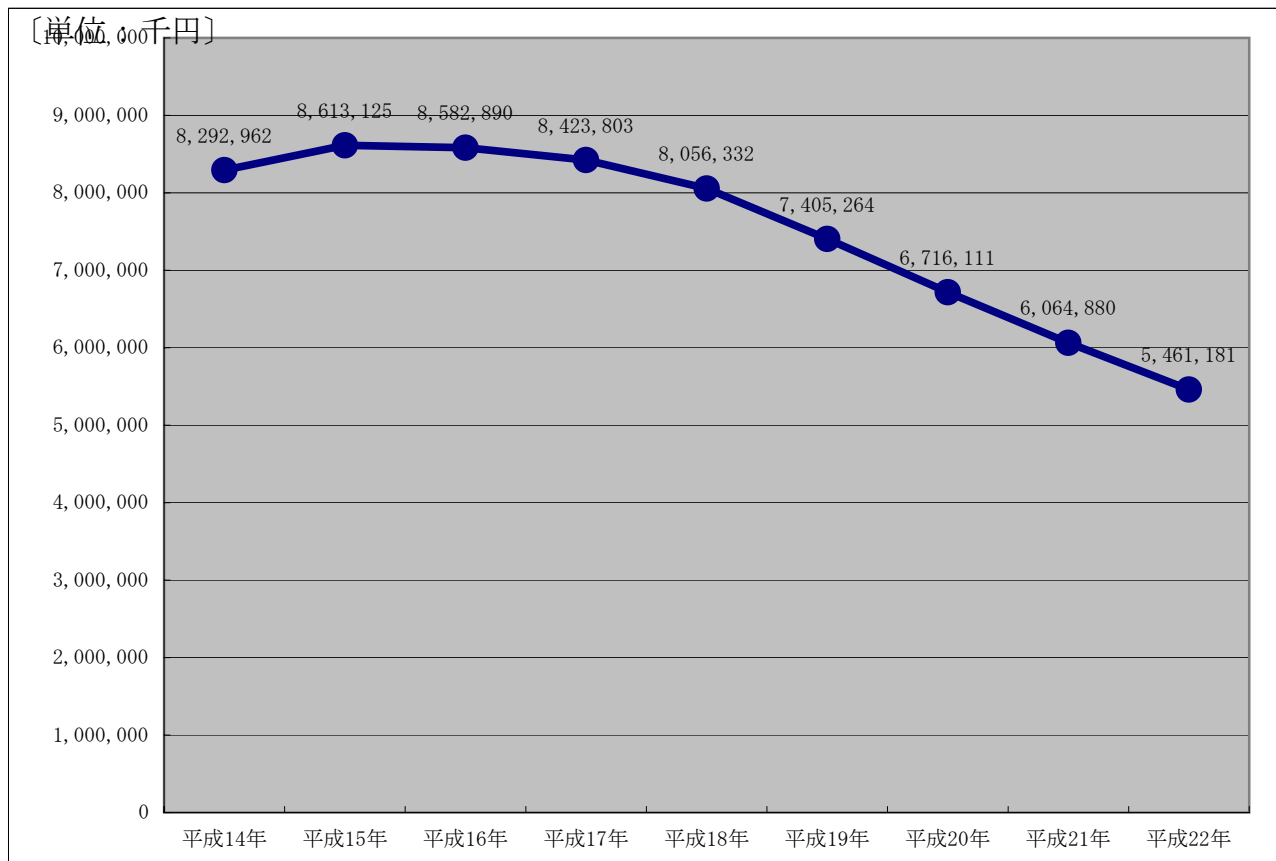


54億6118万円

(対前年比 6億370万円減りました)

平成21年度末 地方債残高 +	平成22年度 借入高 -	平成22年度 返済高 =	平成22年度末 地方債残高
60億6488万円	3億1366万円	9億1736万円	54億6118万円

## 中頓別町のこれまでの借入金残高の状況(一般会計)



公共事業を抑制したことにより借入金残高が、平成18年度から平成22年度の5年間で、約25億9500万円減少したことになり効果が現れてきています。

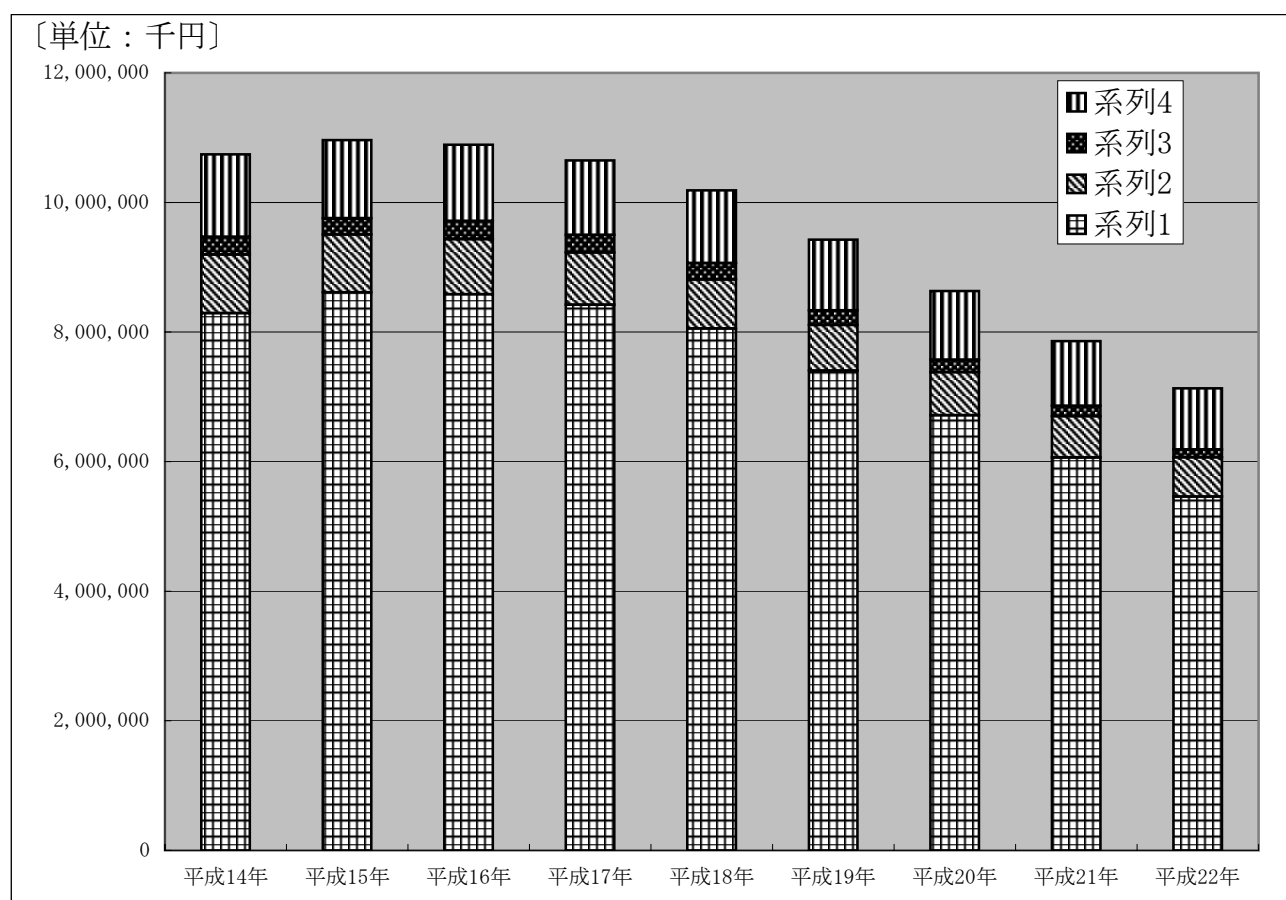
これらの借入金のうちの多くは、返済額の一定割合を地方交付税で国から交付されるしくみになっています。たとえば、もっとも借入額が大きい「過疎債」では、元利償還金の70%が地方交付税で補てんされます。町は公共事業を実施する場合、こうした有利な「借金」を活用するように工夫してきました。

# 借金 (全会計)

**71億3230万円**  
(対前年比 7億2661万円減りました)

	平成21年度末 地方債残高		平成22年度 借入高		平成22年度 返済高		平成22年度末 地方債残高
一般会計	60億6488万円	+	3億1366万円	-	9億1736万円	=	54億6118万円
水道会計	6億3559万円				3034万円		6億525万円
病院会計	1億6060万円		210万円		4260万円		1億2010万円
下水道会計	9億9784万円				5207万円		9億4577万円
計	78億5891万円		3億1576万円		10億4237万円		71億3230万円

## 中頓別町のこれまでの借入金残高の状況



独立採算を基本としている公営企業（水道、下水道、病院）を含めた中頓別町が支払うべき借金総額となります。平成22年度は、一般会計において過去に借入した高金利の地方債を繰上げて償還をしましたので、返済の額が大きくなっています。（南宗谷消防組合や南宗谷衛生施設組合などの一部事務組合に対しての負担金にかかる分は含まれておりません。）

# 貯金

19億8455万円

(対前年比 3億4485万円増えました)



	平成22年度	平成21年度	増減
財政調整基金	2億1419万円	2億1403万円	16万円
減債基金	5億8382万円	5億4400万円	3982万円
長寿園施設改修拡張事業基金	1億1695万円	1億3208万円	▲1513万円
天北線代替輸送確保基金	3億2290万円	3億3355万円	▲1065万円
畜産振興基金	2523万円	2417万円	106万円
地域振興基金	3527万円	3523万円	4万円
まちづくり基金	1億2639万円	1億2608万円	31万円
土地開発基金	1525万円	1308万円	217万円
地域福祉基金	1億1425万円	1億1414万円	11万円
中山間水と土保全基金	621万円	620万円	1万円
農林業活性化基金	5582万円	5569万円	13万円
豊かな環境づくり基金	212万円	211万円	1万円
ふるさと応援寄附基金	547万円	505万円	42万円
公共施設整備等基金	2億5000万円		皆増
町民に光を注ぐ事業推進基金	500万円		皆増
地域活性化基金	6820万円		皆増
介護保険給付費準備基金	2431万円	2426万円	5万円
介護従事者処遇改善臨時特例基金	25万円	162万円	▲137万円
水道事業特別会計基金	1292万円	841万円	451万円

公共施設整備等基金は、今後見込まれる公共施設の建て替えや改修・解体に備えるために積み立てた基金です。

地域活性化基金は、地域医療の確保、住民の日常的な交通手段の確保をはじめ、地域住民が将来にわたり安心して暮らすことができる地域社会の実現を図るために積み立てた基金です。

## 〔コラム〕公表されている決算等の数値に相違が生じる場合があります。

この、「町の家計簿」に用いている数値、金額については、各会計での決算書の数値をもとにつくっています。

しかし、他の財政数値として公表されるもののほとんどが決算統計（地方財政状況調査）で集計された数値を使うのが一般的とされています。また、財政状況を示す数値（経常収支比率、実質公債費比率など）やこの後に掲載している、貸借対照表（バランスシート）、行政コスト計算書についても決算統計で集計された数値を使っています。

各会計決算書と決算統計で集計をする場合に根拠（集計上のルール）が異なるため、数値が異なる場合が生じますので、あらかじめご了承ください。

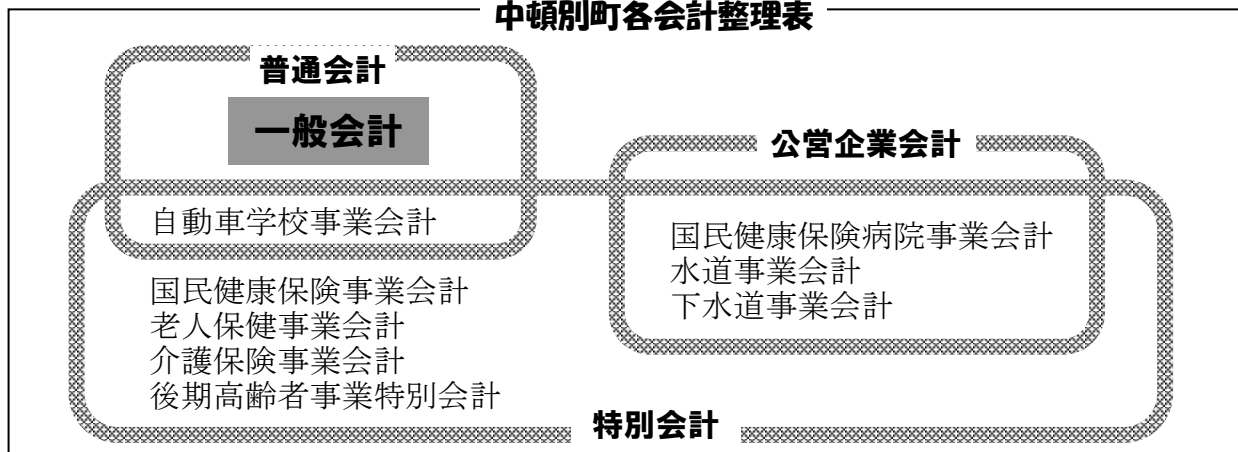
異なる内容として、一例をあげますと、現在、一般会計にて、償還（借金の返済）してる起債の一部において、水道、下水道、病院に係るものが含まれています。決算統計のルールとして、そうした費用については、それぞれの公営企業決算統計にて計上することとされているため、普通会計での決算統計では除外されているからです。また、人件費についても、予算決算では総務費にて議会、教育、水道等の特別会計を除く全ての人件費を支出しています。しかし、決算統計ではこの人件費をそれぞれの目的（民生費、土木費など）に振り分けて計上しています。こうした、ルール上の金額の組み換え、除外が数点あるため、決算上の数値と決算統計上の数値と異なるという現象が生じてきます。

さらに、各種数値について、一般会計、普通会計、〇〇特別会計、公営企業会計等さまざまな財務上の括りがあり、どこの数値を公表しているのか、その表題に必ず記述するようにしていますので、ご確認ください。

※各会計について、わかりやすく記述すると下記のとおりとなります。

今後、数値を公表する場合においては、決算統計の数値を載せています等の注釈を記述し、よりわかりやすい数値、資料の提供を行っていきたいと考えています。

### 中頓別町各会計整理表



※決算統計上の会計区分



**発行：中頓別町**  
**編集：総務課総務グループ**

〒098-5595

北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6

TEL (01634) 6-1111 FAX (01634) 6-1155

<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp/>